

2011/9/28  
第 29 号  
(23 年 9 月号)

# し の の め



長野県総合教育センター通信

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4  
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail [kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp](mailto:kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp)

## 情報・産業教育部長挨拶

小林 晴夫

季節は秋へと移ろいでいます。センターのナナカマドの葉やヤマボウシの実が色づき始めました。夏休み期間中は先生方の研修と並行して学習合宿が盛んでした。学校単位、中学生によるロボコン合宿、工業高校生による大学進学のため、商業高校生による簿記や情報処理の高度資格取得のためと目的は様々ですが、先生と生徒の寝食学を共にしたかけがえのない時間が流れていました。

二学期になり生徒実習で訪れる学校が増えました。学校で対応できない教材や機器、ソフトウェアを用いた体験や実習です。電子顕微鏡でバイオテクノロジー実習をした生徒が「高額な機材を使うことができ、すばらしい体験をさせていただきました。この経験を自分の将来にどのように生かしていくかが課題となりそうです」との感想を残しています。学習意欲や学習効果を高めるばかりでなく、公共施設利用ということで、礼儀やマナー等の社会人力向上の一助になっていると思います。

情報研修講座では、子どもたちの情報活用能力の育成、ICTを活用したわかりやすく深まる授業の実現、校務の情報化の推進を念頭に講座を構築しており、定員を上回る受講希望状況でした。本年度は情報モラル(携帯・インターネット等)・セキュリティについての校内研修支援の要望があり、教職員・生徒・保護者を対象に既に 8 校 1222 名の方が受講されました。

一方、産業教育研修分野では、夏休みを中心に 28 名の先生方が先端技術研修を受講されました。この他に産業教育長期研修や産業教育教材開発を通して、日進月歩の知識・技術・情報に対応するための効果的な指導技術や授業内容等を習得し生徒へ還元しています。更に変化する経済社会を見据え、技術水準や授業内容を更新していく研修講座や先生方のキャリアステージに応じた講座を設定し、より高度な専門性と実践的指導力を身につけられるように工夫しています。

産業教育振興には地域連携が重要と思います。日々の教育活動や研修を通じて、先生方自らが地域に情報を発信し、地域の産業や資源、人的ネットワークの活用や構築、コーディネートができ、学校活性化ひいては地域活性化に繋がっていくことを願っています。



## センター食堂の風景



昼食はセンター食堂をご利用ください。メニューは、昼定食(550円)のほか、カレーライス・麺類・丼などです。昼定食については、10時までにエントランスホール階段下の券売機で食券を購入してください。



# 研修講座探訪

8月・9月に行われた希望研修講座を紹介します

## 【先行実施！気象領域の学習】 8月3日（水）実施 （16名受講）

<講座の内容>

- ①講義「これからの理科学習」
- ②講義「気象領域の学習内容」
  - (1)気象領域の学年毎の展開と内容
  - (2)学習指導要領における目標とねらい
  - (3)中学校気象領域の扱い
  - (4)接続を意識して小学校の内容をみよう



観測器具(簡易百葉箱)を自作

- ③実習「教育センター周辺の気象観測をしよう」
- ④演習「考察の表現向上を目指して」

<受講者の感想から>

- ・身近な材料で簡単に観測器具が製作でき、実践に生かせると感じた。
- ・自分の考え（考察）を書かせるにも、取り組ませ方が大切でいろいろな方法があることが分かった。さっそく準備を始めて、2学期からやってみたいと思います。



簡易百葉箱

## 【楽しい描画活動B】 8月3日（水）実施 （20名受講）

<講座の内容>

- ①講義「小学校の絵画指導のあり方について」
- ②実習「体感！【ものと関わる→試す（遊び）→思いがふくらむ】とは」  
フォトグラム、ローラー、スタンプング、デカルコマニー等
- ③研究協議「子どもたちの作品をどうとらえるか」
- ④実習「デカルコマニーをもとにした絵を作ってみよう！」

<受講者の感想から>

- ・いつも何をさせようかということを中心に考えていて、子どもにどんな力をつけさせたかという視点はなかった。まずこの意識から変えていきたいと思う。
- ・絵は筆で描くだけではなく、いろいろな方法で表現できるということが体験でき、すぐに子どもたちとやってみたい気持ちになりました。
- ・デカルコマニーは初めて取り組みました。出来た模様から何を作り上げていくか、先生によって違い、面白かったです。きっと子どもたちならさらに色々と発想してくれることでしょう。



実習



作品例

# 研修講座探訪

## 【小学校学級担任のための読書支援】 9月2日（金）実施 （27名受講）

新しい学習指導要領では、各教科で読書活動に取り組むことが重要視されています。本講座では、読書の入門期にあたる小学校低～中学年を中心に、楽しみながら「読む力」を育む指導の方法を習得しました。

<講座の内容>

- ①新学習指導要領で求められている「読書活動」の位置づけ（講義）
- ②発達段階に応じた選書や教科学習への読書の活用例（情報交換）
- ③「子どもの心に本を届ける」（講義・演習）

明治学院大学の岩辺泰史教授を講師に、絵本「大砲の中のアヒル」を使った演習をとおして、アニメーションの理論と具体的な指導方法を学びました。

<講座の様子>



「クイズ大作戦」  
絵本をもとにクイズ作り



「紙芝居バラバラ事件」  
場面の順番どおりに並べかえ



引き込まれるような  
岩辺教授の語り口

<感想から>

- 各教科で国語の力、言葉の力が大切であり、そのために読書の役割が大きいことが分かった。特に、学級担任として、「伝え合う」、「共感し合う」言語活動を行っていくことが、質の高い学級集団をつくることにもつながるということに納得した。
- アニメーションのおもしろさ、緊張感、奥の深さなどが分かった。部分的に技法を知るのではなく、今日のようにトータルで良さを知ることが大切だと感じた。

## 【介護実習指導法】 8月9日（火）実施 （9名受講）

国民の4人に1人が高齢者（65歳以上）という超高齢化社会をむかえ、高等学校における介護福祉士等の養成教育の役割が期待され本年度初めて開講しました。各校で福祉を担当する先生方を中心に最新の介護技術を習得しました。

<講座の内容>

- ①介護福祉士養成教育の方向性（講義）

松本短期大学介護福祉学科の丸山順子准教授を講師に、福祉制度や学習指導要領の改訂等を踏まえた介護福祉士養成教育の今後の方向性について学びました。

- ②基礎的な介護技術の指導法（講義・演習・研究協議）

松本短期大学介護福祉学科の施設設備をお借りし、教材研究や実習における具体的な指導方法について、演習や情報交換をしながら学びました。

<講座の様子>



具体的な介護技術の指導



コミュニケーションの実習



介助方法の演習（ケーススタディ）

<受講者の感想より>（抜粋）

- ・日々進化する最新の介護技術と指導方法を、具体的な演習をしながら学ぶことができた。
- ・今回のように実技演習を含む研修を定期的に受講したい。

## 教職教育部が8、9月に実施した指定研修講座から3講座を振り返ります

### ◇高等学校10年経験者研修「地域研修A」

8月25日(木)に長野県立歴史館(千曲市屋代)において、「高校10年研地域研修A」が行われました。受講者16名は、博物館と連携した高校の学習の実践を知り、地域と共に築く教育のあり方についての理解を深めました。県立歴史館の館長、学芸部長、各部課長及び専門主事の先生方の講義・演習・実習・見学により、長野県の学術的・歴史的価値のある文化財と出会い、連携の仕方を具体的に考えていました。

#### <受講者の感想から>

- ・「文化と人はつながっている」という言葉がありましたが、人あるところに文化あり、それを次世代に伝えていくのも人の力なのだとは強く感じました。
- ・栄村に福澤諭吉の手紙の写しが存在したことが判明するなど、とても興味深い話を聞くことができました。
- ・「ひめゆり平和への祈り」、「長野県の満州移民」などの企画展をぜひ見学してみたい。      **バックヤード見学**
- ・県外で平和教育を行うことが多いが、県内や地域の身近なテーマで平和教育を行うことも大切だと感じました。



### ◇高等学校10年経験者研修「地域研修B」

9月9日(金)にピッキオ(軽井沢野鳥の森)において、「高校10年研地域研修B」が行われました。受講者12名は、ネイチャーウォッチングに参加し、森の案内人が、参加者に最高の満足感を与え、また来たいと思われるためにどんな努力をしているか学び、「教育におけるホスピタリティとは何か」について理解を深めました。

#### <受講者の感想から>

- ・ホスピタリティ以外にも専門的な知識を持つことで伝えられる驚きや感動、参加者(生徒)の思考を活性化させる方法など専門性、エンターテイメント、コミュニケーションについて学べ、大変有意義な一日でした。
- ・生徒にとって心地よい授業、配慮ある対応ができるように工夫したい。基本的なことですが、“笑顔”が重要なのだと改めて気づかされました。



ネイチャーウォッチング参加

### ◇高等学校初任者研修「教職基礎研修V」

9月13日(火)に高等学校初任者研修「教職基礎研修V」が行われました。坂城高校手塚理実教諭の実践発表「生徒会指導の在り方」では、坂城高校における生徒会指導の具体的な発表をとおして生徒会指導の在り方について理解を深めました。続く長野西高校鳥谷越浩子教諭の実践発表「クラブ指導を通じて生徒に何を伝えたいか」では、鳥谷越先生のクラブ活動指導の実体験や現任校での具体的な部活動指導について学びました。午後は、体育センター田玉勝己専門主事による講義「クラブ指導における事故防止」により、特に運動部を念頭においたクラブ指導時の安全配慮と事故防止について学び、その後、塩尻市広丘消防署員指導によるAEDを含む心肺蘇生法についての実技講習を行い、実際に使えることを意識して全員が心肺蘇生法の技術を習得しました。

#### <受講者の感想から>

- ・はつらつとした姿でお話しされる鳥谷越先生から大きなパワーをいただきました。先生からお聞きしたことの一つでも自分のものとして、取り込んでいきたいと思えます。
- ・AEDに触れることは初めてで少し戸惑いましたが、体育科の先生を中心にアドバイスをいただき、技術を習得することができました。普段の生活の中で常に頭の中でシュミレーションをし、万が一の時にしっかり行動できるようにしたい。



実技講習「AEDを含む心肺蘇生法」

## 今からでも間に合う研修講座(10月・11月開講の講座) 9月20日現在

分野	講座番号	講座名	対象	日程	募集人数
教科等	3-1-01-25	いきいき高校古典授業	高	11/22	13
	3-1-03-27	実践に学ぶ中高連携数学	中高特	11/10	8
	3-1-03-28	算数的活動を生かした授業	小特	11/15	10
	3-1-03-29	大学進学と高校数学教育	高特	11/17	8
	3-1-03-30	小学校算数から中学数学への橋渡し	小中特	11/29	3
	3-1-04-24	実験から展開する高校物理	中高特	11/17	2
	3-1-04-36	授業に活かす中学校化学実験	小中特	11/22	5
	3-1-05-08	中学校英語基礎Ⅱ	中特	11/2	9
	3-1-05-23	高校における英語リーディング指導	高特	11/18	11
	3-1-08-05	中学校美術基礎	中高特	10/26	6
	3-1-10-26	必修！プログラムによる計測・制御	小中高特	11/1	2
教育課題	3-2-09-01	学校における情報セキュリティとモラル	小中高特	10/25	18
情報・産業	3-4-10-02	専門教育に生かす知的財産権	小中高特	11/22	2
	3-4-13-02	商業科目の新指導法	高(商)	10/6~7	14
	3-4-15-02	教科「福祉」教材研究と指導法	高	11/1	2
	3-4-21-21	組換え実験から学ぶ食の安全	小中高特	11/17~18	2
	3-4-30-21	マネジメントから始める学校創り	職業学科	10/24	27

追加募集は10日前まで受け付けています。HPで確認して電子申請で申込みをお願いします。

### 信州型事業仕分けについて

信州型事業仕分けの対象事業の一つとして、「教職員研修事業（総合教育センター事業）」が選定され、次のとおり仕分けが行われました。

9月3日（土）伊那会場 1班（教育・子育て）伊那合同庁舎 13:00~14:00  
 参加者：仕分け人（コーディネーターを含む）6名 県民判定人15名  
 県教育委員会事務局・総合教育センター4名

仕分け人の方々との質疑応答の後、研修事業と維持管理事業に分けて県民判定人の方々による評価が出されました。

評価結果：①教職員研修事業 要改善  
 ②総合教育センター維持管理事業 要改善

# 施設開放情報

企画開発部  
塩尻市片丘南唐  
沢6342  
内線113

## 驚き、感心の開放講座、体験コーナー

地域の方々や児童をお招きし、センターの様子をご覧いただこうと、今年も総合教育センター、生涯学習推進センターの施設開放事業「チャレンジ・キッズランド」を八月二十七日(土)に開催した。

## チャレンジ・キッズランドにぎやかに



今か、今かと九時二十分の開場時刻を待つチャレンジ・キッズの列

パソコンでロボットを楽しく操縦

## 天体観察会は中止

「チャレンジ・キッズランド」の前夜は、例年、センターの天体望遠鏡を使った「天体観察会」を行っている。今年度も開催予定だったが、台風の接近により天候が悪化。午後五時近く、諏訪所長は中止を決断した。担当の桐生専門主事は「是非とも地域の皆さんに望遠鏡をのぞいてほしかったが残念」と悔しさをにじませた。ただ、この時期は天候が不安定な上、月が観察できないため、両センターでは、天体観察会自体の存続を検討することになっている。

九時二十分の開場を前に、長蛇の列ができた。キッズたちのお目当ては、開放講座の整理券である。今年度の開放講座は次の四講座だった。

- ① あなたも夢の世界に！万華鏡を作ろう
- ② スーパーボールと塩の大きな結晶を作ろう
- ③ ネオジウム磁石を使ってペーパーハンガーを作ろう
- ④ わくわく工作教室



このうち「スーパーボールと塩の大きな結晶」の講座は、整理券が瞬く間になくなる人気ぶりだった。担当の田中専門主事は「液体がみえるみるスーパーボールに変化していく様、岩塩のかたまりから宝石のようなきれいな立方体が切り出せる様は、子どもたちが驚きを持ち、化学に関心を持つきっかけになる」と熱く語った。



翌日の太陽プロミネンスは観測できた

また、開放講座のように整理券を必要としない体験コーナーにもぎわった。今年度は、またで作るうちわ作り、カラフルコマ、電子顕微鏡、箱庭、二足歩行ロボット操作、ペットボトルリサイクル、記念合成写真、ロボット工場見学、プラ板キーホルダー作り、太陽プロミネンス観察、テレビ電話、3D体験、昔の遊び体験、所内ウォークラリーの十三コーナーを設けた。

このうち「カラフルなコマで色実験をしよう」は、色彩の不思議をコマの盤面で体験できるコーナー。単にカラフルな色のコマを作るだけでなく、伊藤専門主事から、なぜそういう色に見えるのかパソコンや図を用いて説明が添えられた。参加者は「なるほど」と感心していた。今回の参加者は三三名。午後三時に終了した。参加者の一人は「やってみたいものがいっぱいで、時間がもつとあったら。本当に充実した時間を過ごせ、子どもも大人も大満足」と語った。好評であった施設開放だが、センターでは、別の施設開放のあり方も模索している。



なんで？へえ！なるほど！の声がたくさんあがった